

# 北海道支部通信

VOL.1 1998.12.10

発行 JSCA北海道支部

創刊によせて

支部長 後藤 隆之



昨年6月の支部通常総会において二期4年間勤められた中村仁司前支部長の後任となりました後藤でございます。支部機関誌の創刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

支部の運営にあたり「JSCA活動が、いかに会員一人ひとりの日常業務に役立つか」を常に念頭において、会員相互の交流・コミュニケーションを広げていきたいと思っております。

具体的には、本年度から広報企画、技術、事業、耐震改修技術研究の4つの委員会を新設して、多くの会員の参加により支部活動の活性化を計ってまいります。

当機関誌は広報企画委員会の活動の一つとして「会員への情報の提供、会員同士の交流」を目的に、今後年2回発行いたします。特に遠方の方には常日頃ご不便をおかけして心苦しく思っておりますので、会員紹介などに積極的に参加して交流を深めていただきたいと思います。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

## 事業委員会

委員長 吉岡 尊志

今年度より4つの委員会が発足しました。我々事業委員会の活動も、順調に推移しております。

8月の小樽ベイシティ見学会には28名の参加がありました。

8月末には本会初の地方遠征となります釧路市庁舎の免震見学会を実施し、18名の参加者がありました。構造設計者の北海道日建設計の羽沢氏に、研修会講師をしていただき有意義な事業となりました。

また、11月10日に開催しました技術研究会、及び東京からお呼びしました田村先生の講演会「性能設計への移行と職能の確立」には55名という多くの参加者があり、主催者として喜んでおります。

構造士登録更新の評価点もこれらの事業を通じて計30点を取得いたしました。

構造技術者も、多岐にわたる幅広い知識での判断力を要求される時代になってきました。この会がその一助となるよう、今後も会員の意見を聞きながら企画を立てて行きたいと考えています。

## 技術委員会

委員長 牛田 健一

平成10年度から始めました委員会活動、各委員が1つのテーマを設定し研究会と勉強会を行っています。

支部会員対象の研究会は

- 11月10日 基礎地盤改良と杭基礎について
- 12月22日 PC部材の設計と鉄骨材料・溶接について
- 2月28日 性能指向型構造設計について

委員会内部の勉強会としては

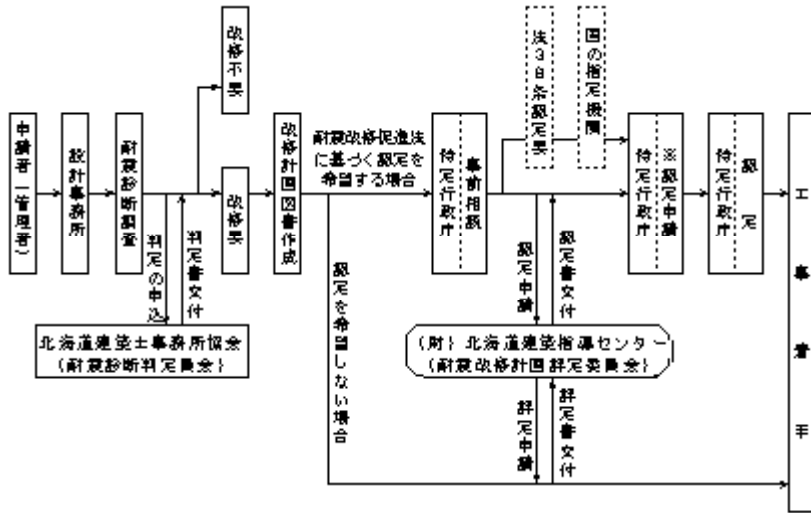
- 9月18日 壁(スリット、 $\beta$ 、雑壁)について
  - 11月27日 現場管理・検査のポイント
- を開催いたします。

織本構造設計田村泰氏の講演会と同日に開催しました研究会は、50名を超える参加者があり、良いお話を伺い有意義な時間を過ごすことが出来ました。研究会は構造士更新用評価点の対象となりますので、今後行われます研究会に会員の皆様の参加をお待ちしています。

技術委員会としては開かれた委員会を目指しています。委員会内の勉強会は委員以外の方の参加も歓迎します。又、委員としての参加も歓迎いたしますので、事務局の方へお問い合わせ下さい。

(財)北海道建築指導センターにおいて、本年9月1日より「既存建築物の耐震改修計画等評定事業」の実施に伴い「耐震改修評定委員会」が設置されました。

申請は、耐震改修計画及び耐震診断・改修計画の2種類の区分により行われます。



連絡先

(財)北海道建築指導センター  
 札幌市中央区北4条西5丁目  
 三井生命札幌共同ビル3F  
 tel 011-241-1893  
 fax 011-232-2870  
 問い合わせ先 窪田企画部長

釧路合同庁舎見学会報告

中村 仁司

主催 JSCA北海道支部 事業委員会

研修会 1998年 8月31日 16:00~18:00  
 「免震構造の設計」 講師 北海道日建設計 羽沢 昭宗

現場見学会 1998年 9月 1日 9:00~12:00  
 「釧路合同庁舎建設工事現場」(戸田・住友・伊藤組JV)  
 発注者 北海道開発局  
 規模 地下1階 地上9階 延べ面積25,025㎡  
 免震装置 積層ゴムアイソレーター+鉛ダンパー+鋼棒ダンパー

当日まで、道東地方では長雨が続き、水害も出ている中開催されましたが、18名の参加があり盛況となりました。31日の研修会は、釧路プリンスホテルの1室で行われました。講師に羽沢氏を迎え地震動の基本に始まり、免震構造、制震構造に至る一連の話と、最後に釧路合同庁舎の設計経過のお話を聞くことができました。翌日の見学会は一転して好天となり、爽やかな朝となりました。現場は外装PC版も取り付けが終わり内装工事に入っていました。主に見学する地下の免震ピット(地下駐車場)周りはほとんど完成に近い状態でした。大規模建築物に各種免震装置を採用し、それらを同時に見る事ができた事で、我々にとっては非常に参考になり、有意義な一日となりました。ここで、羽沢氏、ならびに現場JVの関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



現場の前で集合写真



鋼棒ダンパー



積層ゴムアイソレーター



鉛ダンパー

## JSCA親睦ゴルフコンペ

### 第15回優勝

オリエンタル建設株式会社 草刈 道治

第15回JSCA親睦ゴルフコンペは、札幌エルムカントリークラブ東コースで3組12人の競技会が行われました。G99、H27、N72で2回目の優勝です。いつも諸先輩のご配慮で、和やかで楽しい時間を過ごしています。新しいメンバーは大歓迎です、多数のご参加をお待ちしています。

### 第16回優勝

(株)榎本設計事務所 榎本 勉

JSCA親睦ゴルフコンペ開催以来 第16回目(7年目)にして初めて優勝させていただきました。「石の上にも3年」と言う言葉があります。私の場合は7年目にしての快挙です。昨年は名誉あるBB幹事を連続3回もやりました。「旦那元気で外が良い」とよく言われていますが、ゴルフ親睦会の皆様におかれましては今後共、健康には充分気をつけて元気で楽しい会であられる事を切望期待いたしております。何卒今後共よろしく願いいたします。

### これからもよろしく(会員紹介コーナー 若手編)

田中 啓樹(株)大栄建築設計事務所)

私がJSCAに入会したきっかけは、若手有志の勉強会に声を掛けていただいたことによります。当初は会の存在すら知りませんでした。活動を通じて、自分にプラスになると感じることは、第一線で活躍されている諸先輩の皆様の話を直に聞くことができる点です。設計者である以上、最後は自らの責任において決断を下す訳ですが、そこに至る過程において、情報が豊富な方が良いのは自明の理です。更にそれが設計者の生の声であれば大変有意義であることは言うまでもありません。JSCAの皆様これからもよろしく願いいたします。

小町 美穂(構建設計事務所)

学校卒業と同時に、構造設計事務所に入社し、夢中で技術を磨いて気がつくともう10年早いものです。まだまだ未熟さを痛感しており、毎日が勉強の日々です。同構造事務所にてJSCAなる集団があると知り、先輩方からいろいろ刺激を受けたいと思い3年前に入会しました。勉強会・研究会など積極的に参加してゆきたいと思っております。

不景気な世の中ではありますが、数少ない女性の構造技術者として暖かい光を灯せるよう、努力してゆきたいと思っております。

### 編集後記

委員会が発足して、初めての支部便りをお送りいたします。

今年は例年になく雪が早く、初めての雪道で車が埋まり、近くにいた人に助けられ無事脱出する事ができました。これから寒くなる季節ですが、皆様お体に気をつけてお過ごしください。

支部便りについて ご意見・ご希望がございましたらお聞かせください。

A. A

発行 (社)日本建築構造技術者協会 北海道支部  
事務局 札幌市中央区北2条西2丁目 第2がミヤビル 福本構造設計内  
tel 011-221-3303 fax 011-232-0003